

2024 年度 遺伝子組換え実験安全管理部会 自己点検・評価

2024 年度当初計画 〈P〉
学内における適正な遺伝子組換え実験の管理・運営を行うため、以下を当初計画とした。 1) 遺伝子組換え実験安全管理部会を開催し、遺伝子組換え実験計画を審査・承認する。
2024 年度活動概要 〈D〉／点検・評価 〈C〉
1) 以下のとおり、遺伝子組換え実験安全管理部会を開催した。 2025 年 3 月 26 日 第 1 回遺伝子組換え実験安全管理部会（メール会議） ①受付番号 第 25-01 号（機関承認実験・継続） 実験管理者：健康科学研究科 山田 一哉教授 実験課題名：高炭水化物食による遺伝子発現調節機構の解析 場所名称：分析機器実験室、微生物実験室 実験種類：微生物使用実験、動物接種実験 実験期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 実験目的： 1) 高炭水化物食による糖質・脂質代謝系酵素遺伝子群の転写調節機構を明らかにする。 2) 各種遺伝子を過剰発現させるために、その全長 cDNA を含むアデノウイルス・レンチウイルスを作製し、細胞に感染させ、その作用を調べる。 【審議結果】 「承認」とした（3 月 28 日）。 ②受付番号 第 25-02 号（機関届出実験・継続） 実験管理者：健康科学研究科 河野 史倫教授 実験課題名：筋特性の発生・維持・変化に関わる分子メカニズムの追求 場所名称：動物飼養保管室、動物実験室、微生物実験室 実験種類：微生物使用実験、組換え動物実験、動物接種実験 実験期間：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日 実験目的： 骨格筋への代謝的刺激、メカニカルストレス、神経活動が、どのようなメカニズムで筋肥大や代謝特性の変化を引き起こすのか追求する。 【審議結果】 「承認」とした（3 月 28 日）。 ③受付番号 第 25-03 号（機関承認実験・継続） 実験管理者：健康科学研究科 高木 勝広教授 実験課題名：血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明 場所名称：分析機器実験室、微生物実験室 実験種類：微生物使用実験、動物接種実験 実験期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 実験目的： 1) インスリン様活性を有する食品成分のスクリーニングし、その作用機構を解析する。 2) 各種遺伝子を過剰発現させるために、その全長 cDNA を含むアデノウイルスを作製し、細胞に感染させ、その作用を調べる。 【審議結果】 「承認」とした（3 月 28 日）。 ④受付番号 第 25-04 号（教育目的実験・継続） 実験管理者：健康科学研究科 高木 勝広教授 実験課題名：酵母の形質転換 場所名称：共同実験室、微生物実験室 実験期間：2025 年 7 月 1 日～2025 年 7 月 31 日 実験目的：

お酒の発酵等に用いられる麹菌（*Aspergillus oryzae*）由来のアミラーゼ遺伝子を、酵母菌（*Saccharomyces cerevisiae*）に導入します。アミラーゼ遺伝子が導入された酵母はアミラーゼを分泌するようになります。

【審議結果】

「承認」とした（3月28日）。

次年度に向けた課題・方策 〈A〉

2025 年度も引き続き適正な遺伝子組換え実験の管理に努める。課題等は特になく、関連の情報を外部から継続して取得しながら実験者への共有を推進する。

執筆担当／部会長 河野史倫